

住民説明会結果表（質疑応答を中心に）	
開催日時	平成21年9月10日（水） 19:00～20:35
会場	一色町立一色中部小学校 体育館
来場者数	201人
質疑応答の要旨	
Q	合併自体には賛成だが、説明等を拝聴するに最も大切な部分が落ちている。それは「自己決定の喪失」である。一色町民が西尾市民になることにより、独自の価値観がなくなり、一色町民が飲み込まれてしまうという現実を見るべきである。
A	価値観や文化性は一律に比較できるものではない。一色町には全国に発信できる価値あるものが多くあり、西尾市と比べるべきものでもなく、自己決定は本来各個人がするものであると思います。行政は、個人、家族、地域でできないものをやっている、もっと大きな枠でやるべきであり、各種交流の妨げになっている。編入であるので、一部に西尾市に飲み込まれる部分もあるが、伝統は必ず受け継がれ、かえって価値観が多様化し、西尾幡豆の真の豊かとなると思っている。
Q	新市の名称の件で、自分の町の名前が消えることは忍びない。提案として「三河市」にすれば、お互いにもめないのではないか。
A	今回は編入ということで原則西尾市で協議していきますが、ご提案の件については伝えていきたいと思っています。
Q	メリット、デメリットの件で、住民サービスは具体的にどのようなようになるか教えてほしい。
A	その対象となるべき人が、どのようなサービスに関心があるかによって変わってきます。いろいろなところを見れば、いろいろな違いが出てくると思います。
Q	資料8ページの統計数値や9ページの平成20年度決算で一色町の投資的経費の数値を見ると合併は仕方ないと思う。様々な件について判断材料として更なる情報公開が必要だ。
A	計画的に多く出すときと少なく出すときを調整していますので、統計数値については、単純に比較できない部分もあります。投資的経費は平成21年度に大型の建設事業（一色東部小学校南校舎改築等）があるため、平成20年度の事業費を相当絞り込んだことによる影響だと思っています。
Q	合併時に一色町民がうれしく思うような話はないか。地方税はどうか。教育委員会の説明がなかった。幡豆郡三町は一町一中学（一色町は2）で恵

まれている。合併すると10中学校となり、効率化・公平化が求められ、自主性・個性がなくなるのでは。

A 税制については、ごく一般的な説明になるのでご理解を願いたいと思います。教育委員会の統合により、大きな行政区域に入ると、個性が平均化・標準化することも考えられるが、各学校で特色ある活動をしており、今後もおこなわれると思っている。中学生海外派遣事業や文化芸術スポーツ体感事業は、今後どうなっていくのか心配です。地域の個性や文化をつなぐのは行政ではなく、人から人へ引き継がれ発信していくものだ。大きな枠の中で個性を出していくことこそ、本当の活性化・賑わいになると思います。

Q 各市町で中長期計画が策定されていると思うが、新市となった場合、まちづくりの計画は、各市町のつくったものを持ち寄るのか。新計画を策定するのか。

A 町長就任以来、長期ビジョン計画や第7次総合計画、都市計画マスタープランなど、30年50年後にこの地域はこうありたいという思いで、これら計画を策定した。新市の計画においても、これらの計画が埋め込まれるよう努力します。

Q 住所の表示はどうか。

A 今後協議をしていくことだが、「一色」という名前はなくなる。旧町の名前を残すとか、大字を町名に格上げするとか、いろいろな方法がある。いいアイデアがあれば伺いたい。